

# 会報 Vol. 44

N P O 防 災 千 葉

令和 6 年度通常総会報告

令和 6 年 9 月発行

特定非営利活動法人 防災千葉

千葉市中央区本町 1-6-24 (渡辺コーポ 102 号)

E-mail [bosai@bosai-tiba.jp](mailto:bosai@bosai-tiba.jp)

Homepage <http://www.bosai-tiba.jp>

## ■ 令和 6 年度通常総会を開催

特定非営利活動法人防災千葉は、令和 6 年 7 月 16 日プラザ菜の花において、74 名の会員の出席のもと、令和 6 年度通常総会を開催しました。この総会には県土整備部角田次長様をはじめ県土整備部幹部の皆様、及び千葉県建設技術センター長島理事長様に来賓としてご出席いただきました。



増岡理事長

開催にあたり、増岡理事長から、「本年 1 月に発生した能登半島地震は、発生から半年を過ぎ、今なお多くの避難者が困難な生活を送られています。改めてお亡くなりになった方々、被害を受けられた方々には、心からお悔やみとお見舞いを申し上げるとともに、早期復興をご祈念申し上げます。

また、千葉県については、昨年 9 月の台風 13 号の接近による豪雨により、養老川や一宮川をはじめ 23 河川で氾濫が発生し、土砂災害も県内各地で多数発生し、災害件数は、275 件と全国 1 位となっています。

本年 6 月に参加した「第 25 回砂防ボランティア全国のつどい」では、石川県の砂防ボランティア協会から能登半島地震

に伴う支援活動を行った旨の紹介がありましたが、当 NPO 防災千葉では、災害時の支援活動に当たり、千葉県と災害協定を締結し、地震・風水害・土砂災害などの自然災害が発生した場合、公共土木施設に関する現場の被災状況を収集し、施設管理者に通報することとしており、各地域の土木事務所と緊密な連携を図り、円滑な支援活動を実施するよう引き続き取り組んでいきます。」と挨拶がありました。

さらに、令和 5 年度の主な活動として、あるくパトロールへの参加、防災関係技術研修会の開催、土砂災害防止月間に、各土木事務所や地元自治体と協働でかけ点検を実施したこと、本年の新規入会者 9 名には、今までの豊富な経験を活かし当会活動への尽力を期待すること、などの話があり、最後に、当会の理事長、相談役を歴任されました小林宗平様が、この春の叙勲で瑞宝双光章を受賞されたことが紹介されました。



角田県土整備部次長

来賓を代表し、県土整備部角田次長様からは、「近年、頻発する集中豪雨や台風の強大化などにより風水害や土砂災害が増加し、被害も激甚化する傾向にあります。本県においても昨年 9 月に発生した台風 13 号の接近に伴う豪雨により、一宮川等の浸水被害や、茂原市や大多喜町を中心として土砂崩れが 100 件以上発生しました。今年に入っても、6 月の大霖により県管理道路で土砂崩れが発生し、計 3 箇所が通行止めとなり、2 箇所については、未だに復旧の見通しがたっていない状況です。また、元旦に発生した能登半島地震では幹線道路が分断され復旧に多くの時間を要しているところです。半島性を有する本県も同様の被害が想定されることから、千葉県版の道路啓開計画の早期策定が必要と認識しております。こうした中、県土整備部では、災害に強い社会資本

の整備を進めるため、国県道のバイパス整備、橋梁の耐震化、無電柱化による緊急輸送道路の強化を進めている他、各土木事務所にドローンを配備し、非常時における迅速な被害状況の把握に努めるとともに、今回初めての試みですが、昨年の台風13号に伴う浸水対応として排水ポンプ車の活用が有効であったことを踏まえ、関東地方整備局の協力のもと、7月の8日、9日に県の職員や建設業協会の方々を対象とした操作講習会を実施するなど、円滑な災害対応に向けた取り組みを行っているところです。今後もNPOの皆様の知識と経験を、各種事業を通じてご指導いただき、側面から県の現場力を支えていただければと思っております。地域を守り災害に強い県土づくりを進めてまいりますので、引き続きご協力とご尽力を賜りますようお願いします。」とのお話がありました。

議事は令和5年度の事業報告、収支決算及び令和6年度の事業計画（案）の4議案がすべて承認されました。

## ■ 令和5年度事業報告（R5.7.1～R6.6.30）

令和6年度通常総会で承認された令和5年度の「事業報告」は下記のとおりです。

（令和6年度の「事業計画」は4ページに記載しています。）

通常総会	令和5年7月18日 プラザ菜の花にて開催。 出席者182名（内訳：本人出席62名、書面表決90名、表決委任30名）。 令和4年度事業報告及び収支決算報告、令和5年度事業計画（案）、 収支予算（案）及び役員の選任（案）が承認された。
役員会・理事会・ 事務局会議	役員会は1回、理事会3回、事務局会議は6回開催した。
砂防ボランティア全国のつどい	令和6年6月6日 広島県広島文化交流会館において開催され、1名が出席した。
防災訓練	県土整備部震災訓練に参加し携帯メール等による情報伝達訓練等を実施予定であったが、台風13号の接近や能登半島地震への対応があつたことから中止。
防災関係建設技術研修会	令和6年1月19日 プラザ菜の花にて、全国治水砂防協会千葉県支部、千葉県河川協会、道路協会、NPO防災千葉による共同開催。 <b>【激甚化する災害への対応】</b> 1 関東地方整備局の防災対策の取り組みについて (国交省関東地方整備局災害対策マネジメント室 室長 高橋哲 様 ※能登半島地震対応のため、NPO防災千葉による代理説明) 2 台風13号接近に伴う豪雨による災害に対する県土整備部の取組について (県土整備政策課 災害対策担当課長 椿原保彦 様) 参加者数95名（うちNPO防災千葉33名）
土木遺産調査伝承	令和5年11月に千葉県建設技術協会と共同開催で、養老渓谷周辺の川廻し、弘文洞跡、2層トンネルなどを視察予定であったが、台風13号の影響を受け中止。
会報の発行	会報(42～43号)を会員および県の関係機関、外郭団体等に配布した。 42号(令和5年9月1日発行)700部、43号(令和6年3月1日発行)700部。
あるくパトロール参加	令和5年8月～9月 障害物等の点検・改善と正しい利用を指導するパトロールに参加。 (参加者：34名 13土木事務所)
土砂災害警戒区域等の 点検協力	令和6年6月～7月 県、土木事務所、市町村等が協働で実施する点検に協力。 (点検箇所640箇所 参加者：69名 全土木事務所 )
新たな収益事業の検討	河川環境課、道路環境課と収益事業の掘り起こしのための打合せを実施。

## ■ 水防訓練への参加

出水期を迎えるに当たり、各土木事務所で水防訓練が行われ、令和6年6月14日には夷隅地域の水防訓練が、いすみ市文化とスポーツの森サブグランドで行われました。

出席者は、河川協会夷隅支部長の勝浦市長、道路協会夷隅支部長のいすみ市長を始め、大多喜町長、御宿町長、建設業協会夷隅支部、及び警察署、消防署などから総勢105名が参加し、当NPOからは市川慎一相談役をはじめ10名が参加しました。



夷隅地域水防訓練



土のう積み演習

## ■ 土砂災害警戒区域等の点検協力

土砂災害防止月間（6月）に行われる土砂災害警戒区域等の点検（通称 がけ点検）に当NPOでも積極的に協力しています。この点検は、各土木事務所および市町村等の参加により協働で行われているものです。

点検箇所：640箇所 NPO参加者：69名（市町村等を合わせると総勢約500名）全土木事務所



がけ点検状況（市原市）



がけ点検状況（千葉市）

## ■ NPO防災千葉の組織（令和6年7月16日現在）

役員				相談役		
理事長	増岡 洋一	理 事	大野 二三男	市川 慎一 佐藤 正芳		
副理事長	鶴岡 春美 渡邊 芳敏		木邊 實 塩屋 龍一郎			
		監 事	大湊 一文 松田 善典			
事務局員						
事務局長	土屋 謙	事務局次長	滝浪 善裕			
	総務部	企画部	事業部	広報部	会計	
部長	米良 信雄	柴田 利雄	根本 嘉生	山本 篤	五十嵐 隆夫 江澤 和夫	
部員	木邊 實 御園生 孝 平林 利夫 吉田 良治 大塚 和裕 平野 秀明 大村 晃	中橋 正 石井 光男 山口 浩 長谷川 真澄 岩船 保 竹内 亀代司 秋葉 伸一	村樋 紀雄 橋本 大義 神作 秀雄 町田 英之 元吉 博保 吉野 利秋	大野 敏夫 水垣 浩 日野 泰宏 成田 昭也 麻生 雅通		
地域幹事・副地域幹事						
地域名	地域幹事	副地域幹事	地域名	地域幹事	副地域幹事	
千葉	鳥海 浩	成田 昭也	海匝	大湊 一文	渡辺 幸男	
葛南	柴田 利雄	神作 秀雄	山武	塩屋 龍一郎	橋本 大義	
東葛飾	根本 嘉生	石井 直樹	長生	鵜沢 覚	米良 信雄	
柏	伊藤 洋二	一松 政夫	夷隅	鈴木 邦秀	石井 光男	
印旛	岩船 保	竹内 亀代司	安房	平野 秀明	鵜山 克己	
成田	前田 善信	松木 久男	君津	村岡 春雄	長谷川 真澄	
香取	秋山 文男	秋葉 伸一	市原	水垣 浩	山本 篤	
銚子	實川 常博	御園 直樹				

## ■ 令和6年度 事業計画

- 砂防ボランティア全国連絡協議会に参加（令和6年11月、令和7年5月）
- 砂防ボランティア全国のつどいへの参加（令和7年6月頃）
- 講師の派遣 要請に応じ講師を派遣
- 防災訓練 県土整備部震災対策訓練に参加予定（令和6年9月3日）
- 防災関係建設技術研修会の開催（令和7年1月頃 プラザ菜の花）
- 土木遺産調査伝承（令和6年11月頃）
- 会報の発行（第44号（9月）700部、45号（3月）700部）
- あるくパトロール参加（令和6年10月～11月）
- 土砂災害警戒区域等の点検協力（令和7年6月）

### ■会員の動向

令和6年度入会者数

9名

令和6年度会員数

（7月1日現在）

221名

賛助会員

全国治水砂防協会  
千葉県支部